

りとるらいふ通信

(社福) みんなでいきる
障害福祉事業部りとるらいふ
発行日：2020年7月

7月に入り、梅雨明けが待ち遠しい今日この頃ですね。
例年、七夕は雨の日が多いですが、織姫と彦星が無事に会えますように・・・
♡そして、みなさんの願いも届きますように・・・☆
さて、今月号では前月号の生活介護2事業所に引き続き、放課後等デイサービス「ららん」をピックアップして、普段の事業所での様子をご紹介します！
それでは、読みごたえたっぷりな7月号をお届けします♪



放課後等デイサービス ららん

個室は、宿題をしたり、自分の気持ち落ち着かせるためなどに使用したりしています。



【りとるの家はなれ】
一階が、放課後等デイサービスららんになっています。

来所してからの流れを写真や絵カードで表示し、ロッカーからトイレ・洗面所、更衣室の動線が真っ直ぐになっているので、次にする行動がわかりやすくなっています。
また、ロッカーには自分の顔写真があり、自分でロッカーを見つけることができるように工夫してあります。



広く見通しの良いフロアで、年の違う子ども同士で遊んだり、ビーズクッションでくつろいだりして、各々のペースで過ごしています。



「おうち時間の楽しみ方」

(とも 出崎職員からのテーマ)

最近「暇だな～」と思うと脳トレをしておうち時間を過ごしています。
きっかけは頭の体操もそうですが“ひらめき”をよくすることで。学生時は漢字もそこそこパツと出てきていましたが卒業後はiPhoneやパソコンで予測変換をすることが大半になり、漢字を書くということが少なく、なかなか出てこないと感じています。なので、脳の老化を緩やかにする為にも難しい脳トレをして鍛えていこうと思っているこの頃です。合わせて、手先の運動としてダイヤモンドクロスステッチや刺繍にも挑戦をしたいと思っています。

ららん 三浦江理花



次回のテーマ：この夏したいこと

「おすすめのマンガやDVDは？」

(もーと 中司職員からのテーマ)

今回、私が愛読している漫画本を紹介したいと思います。そのタイトルは「はじめの一步」です。読んだ事がある方もいらっしゃると思いますが、今も週刊少年マガジンで連載中のボクシング漫画の金字塔です。アニメ化もされています。私は最初アニメから入り、すっからはじめの一步の虜になり気付けば古本屋で単行本を買い漁っていました。読めば読む程その登場人物の人生観に魅了されていってしまいます。中でも伊達英二という30歳のおじさんボクサーが好きで、彼の男らしい戦い方や生き様は私の胸を熱くさせてくれます。他の登場人物一人一人にも物語があり、読む人の心を熱くさせてくれます。もし良ければマンガ喫茶やアプリ等で一度読んでいただきたいと思います。

きら 土肥一弥



次回のテーマ：夏の思い出

大収穫！！ きらの畑紹介



きらでは屋外で活動するグループの日課の1つとして、畑で野菜を育てています。春から耕運機を使って土を柔らかくし、種を小さなポットに蒔く所から始めました。時には枯れてしまい失敗する事もありましたが、次はどうしたらいいのか考えながら挑戦しています。
現在は玉葱・じゃがいもの収穫を終え、枝豆・とうもろこし・トマト・ナス・ピーマン・オクラ・南瓜・さつまいもが少しずつ大きくなってきています☀
今年度はプランターで苺の栽培にも挑戦中です！！🍓

きら



6月、きらでは夏を快適に過ごせるように思いを込めて、ゴーヤのグリーンカーテンづくりに挑戦しました！
4月から一緒に活動しているメンバーで、仲良くプランターにゴーヤを植え、毎日ゾウさんのジョウロで水やりを頑張っています😊
これから少しずつ育っていく様子もまたお伝えしたいと思います♪早く大きくなあ〜れ！！🌸

とも

6月の調理イベントとして餃子ピザ作りを行いました🥟餃子の皮にピザソースを塗り、その上にハムやミニトマトなどそれぞれのお好きな具をトッピングし、カリッと焼きあげて完成👍「もう一枚ある？」「おかわり〜」という声が聞かれ、チーズを伸ばしながら召し上がるご利用者様の笑顔が素敵でした🌸



らん



6月はらんミニ運動会を、ラーバンセンター体育館にて開催しました。パン食い競争ならぬお菓子食い競争では、色々あるお菓子に「どれにしよう？」と悩む姿が見られ、巨大パズルでは簡単には組み立てられないように、あえてダミーを用意する職員の工夫をよそに、お友達同士で手際よく完成させていました。大きな声を出して、体育館の中を駆け回っていい汗をかきました。



にこ



雨降りの中、色とりどりの紫陽花が咲き梅雨を感じる季節になりましたね。6月の活動ではそんな梅雨にちなんで傘を作りました！紙皿を半分に切って色を塗ったり、シールを貼ったり・・・中には好きな電車や顔を書いてくれた方も。丸めてモールの柄をつけたら完成です！雨の日はこんな素敵な傘を差して気分を上げたいですね♪

もーと



6月のもーとの夏の始まりは虫取りから！！
大きい虫はいなかったですが、もーとの虫博士たちは小さい虫を見つけて大大興奮でした。
「これなんて名前の虫？」と職員に聞きながらじっくり見つめて観察です。虫取りの後はシャボン玉もしてこれから暑くなる前に涼しさを先取りしてます！！



「どうぶつの森と娘」

日中生活支援課 児童係長 渡辺 功

ここ最近、また新型コロナウイルス感染者が増えてきているようですが、皆さんはどうお過ごしでしょうか。
4月、5月は緊急事態宣言が出され、休校も長引く中、ただただ小2の娘に「家にいなさい」と我慢させてしまう日も多くありました。「つまんないっ！」と言う娘と、家でもできるプラ板作り、ホットケーキ作り、パソコンでシール作りをしたり、夜にはプロジェクターで壁に鬼滅の刃を映して上映会をしたり…ただ毎日できるわけでもありませんし、何回もやっていたら飽きますよね。なんだか無駄な買い物したなと思うと同時に、そもそも無駄ってなんだろうと思いました。
4月に入り、頑張って自宅待機している娘へのご褒美と思い買ったのがNintendo Switchの「どうぶつの森」。私自身、あまりゲームはしないのですが、娘と一緒にと言うので、始めてみたのですが…おもしろいですね。内容も、家を建てるためにローンの組んだり、お金を銀行に預けて利子をもったり、カブ価の変動を気にしながら売買したり。普段、親から教える機会がない要素もたくさんあり「これってどういう意味？」と一緒に勉強しながらコツコツ楽しんでいます。娘はゲーム内でお金が貯まると好きな洋服や家具を買い、お金が少なくなると、私に「お金ちょうだい」と言うので「無駄遣いするからでしょ」「貯めときなさい」というやり取りが繰り返されます。現実世界と一緒にですね。
ふと考えた時に、今までお金の使い方について、私から子どもに何かを教えたことはありませんでした。外出先でも「無駄遣いはやめなさい、貯めときなさい」と言うばかり。ですが、よくよく娘に聞くと「前から欲しくて悩んでた」「友達とお揃いが欲しかった」等など、子どもには子どもなりの考えや理由があったのです。私は親の価値観で無駄と判断し子どもの考えに耳も傾けず否定していたのだと思いました。今は「なんでほしいの？」「それを買うためにはどうしたらいいと思う？」とお小遣いの使い方を一緒に考えるようにしています。つい先日、娘は外出前に自分の財布の中を見ながら、「これだったら買えるかな？…」とブツブツ言いながら一生懸命考えているようでした。
たかがゲームと思っていましたが、ゲームをきっかけに娘と普段しないような話ができました。無駄かどうかは人それぞれ、その人の目線になってみないと分からないこともたくさんありますね。休校期間は家族にとって大変なことも多く、何より自宅で過ごすための出費はかなり痛かった…ですが、決して無駄ではなく、それには大きな意味があったのだと今は思えます。

とももの雑貨紹介



クラフトテープを編んで作られた、カラフルで可愛いカゴです♡



バラの刺し子がモチーフになっている、オシャレなタペストリーです♡

どちらもご利用者様が一から作られた、オリジナルのもので素敵な作品です(^^)

